

# 委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 5年11月28日

胎内市議会議長

小野徳重様

(報告者) 総務文教常任委員会  
委員長 坂上隆夫

総務文教常任委員会視察研修 について、  
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日時	自 令和 5年 11月 7日 至 令和 5年 11月 9日 2泊 3日 ( 3日間)	調査・研修 場所	長野県大町市 福井県勝山市
調査・研修 事項	・学校再編の取り組みについて (長野県大町市) ・監視カメラ公開システム導入事業について (福井県勝山市)		
調査・研修 出席者(参加者)	坂上隆夫・笈智也・丸山孝博・薄田智・天木義人・渡辺秀敏 八幡元弘・森本将司・増子達也・荒木利和 (事務局)		
相手方(対応者)	・長野県大町市 市議会 議長 二條隆夫、事務局長 藤澤浩紀、主任 倉科貴大 教育委員会 学校教育課長 平林政規、学校再編係長 渡邊哲也、 学校再編係主事補 春日飛輝、学校教育指導主事 山岸澄雄 ・福井県勝山市 市議会 副議長 近藤栄紀、事務局長 鳥山健一 建設課長 藤澤、維持管理係長 柳原 総務課危機管理防災係長 林、危機管理防災係 佐々木		

## 調査の結果または概要

### ○長野県大町市

大町市は少子化に伴う小中学校再編について、中学校3校・小学校5校・義務教育学校1校を、令和5年度より中学校1校・小学校4校・義務教育学校2校とし、さらに令和8年度には小学校を2校とする計画のもと進めている。

再編に向けた動きとして、平成29年から義務教育のあり方についての検討を開始。翌年に検討委員会を設置し、市民や保護者へのアンケート並びに研究部会を行った。

その後、報告書の提言を受け再編計画に着手し、令和3年臨時教育委員会にて「学校再編基本計画」を議決。令和5年度より再編を実施しており、現在も小学校再編に向けて「再編準備委員会」を設置し進めている。

### ○福井県勝山市

勝山市は自主財源にて、リアルタイムデータ送信監視カメラを導入し、河川や市道除雪の監視を行っている。

導入の発端は、台風による大雨で発生した土砂崩れにおいて、市が管理する、飲料や防火・融雪等の生活用水及び灌漑用水として利用している用水が氾濫したことが原因で、令和2年度に4台のカメラを導入した。その年度の冬に大雪の影響で水路詰まりが発生したことから、積雪、水路状況を把握するために、令和4年度に監視カメラを追加導入し、現在28台のカメラを、春から秋にかけて河川、冬は市道の除雪監視用として使用している。また、移設可能で感応式の機能も備わっているため、熊対策や渋滞監視など活用の用途を広げて市民に発信している。

## 調査の所見・感想

### ○長野県大町市

何よりも再編計画を進めるスピーディさに感銘を受けた。その検討過程の中に市民や保護者への情報発信を重要視し、学校再編NEWSの継続発行や各種関係団体との度重なる懇談会など随時行い理解を得つつ、学区が広域であるが故の通学時間や距離、再編に関わる学校数などの実質面にも最大限配慮しながら進められており、丁寧かつ繊細さを感じた。また、山間地域については小中各学校が既存のまま小中一貫校制度を採用し、教職員の負担軽減や授業幅の拡充に努めるなど、斬新な再編形態は当市のような少子化学区が多い地域にも有効であると感じた。

### ○福井県勝山市

自主財源で行った事業であるが故の、活用度の自由を強く訴えていたことが強く印象に残った。また、ライブ配信やモニターチェックなどのシステム構築について、可能な限り市職員で行うことでコストカットを実現されており、個々の職員が持つ行政作業への熱意を強く受け止めた。

維持管理は保守点検や移設などに人的労力がかかるが、災害に向けた事前情報収集力の早さとその際の安全確保には大いに有効であると感じた。